

# 平成25年度 地域における子育て支援に関する調査票

東京都渋谷区神宮前 5-53-1  
日本保育協会

※このアンケートは、国庫補助事業として行われている保育所が運営している地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター、以下「センター」といいます）についてのものです。（ ）内に記入をお願いします。番号のあるものは該当するものに○を付けてください。

※調査時点は、特に指定のない限り平成25年8月1日現在とします。

※この調査票の回答者について、該当する職名の番号を1つ選んで○を付けてください。

（回答者は、原則として保育所長または子育て支援の担当者とします）

- 1 保育所長                      2 子育て支援の担当者                      3 保育士                      4 市区町村の担当者  
5 その他（                      ）

## I. 保育所の基本情報

はじめに、センターを運営されている貴保育所の設置状況等についてお尋ねします。

1. 貴保育所の経営主体について、該当する番号を1つ選んで○を付けてください。

- 1 市町村などの公営                      2 社会福祉法人立などの民営（「公設民営」も含みます）

2. 貴保育所の所在地をご記入ください。

- 1 都道府県名（                      ）    2 市区名（                      ）    3 町村名（                      ）

3. 貴保育所の施設認可年をご記入ください。                      昭和・平成（                      ）年

4. 貴保育所の入所児童定員数をご記入ください。                      児童定員数（                      ）人

※認定こども園の場合は、保育所部分の児童定員のみご記入ください。

5. 貴保育所では一時預かり事業を実施していますか。いずれかに○を付けてください。

- 1 実施している                      2 実施していない

6. 貴保育所では、子育て相談や支援に関する勉強会を行っていますか。

- 1 行っている                      2 行っていない

7. 貴保育所の所在する都道府県では、保育所が運営する地域子育て支援センターの連絡協議会がありますか。

- 1 ある                      2 ない

※ 質問はおもて・うらの両面にあります。

## Ⅱ. センターの基本情報

貴保育所が運営するセンターについてお尋ねします。

- センターの設置場所について1つ選んで○を付けてください。
  - 保育所の建物内にある
  - 保育所の建物内ではないが同じ敷地内にある
  - 保育所の敷地外にある
- センターを国庫補助事業として開始した年をご記入ください。平成（ ）年
- 昨年度の週あたりの開所日数と、センターの開所時間(24時間表記)をご記入ください。
  - 開所日数 週（ ）日
  - 開所時間（ : ~ : ）
- 昨年度、毎土曜日も開所していましたか。
  - 開所している
  - 開所していない
- 昨年度、毎日曜日・祝日も開所していましたか。
  - 開所している
  - 開所していない
- 昨年度のセンター利用者数についてご記入ください。
  - 1日平均（ ）人 ※小数点以下は四捨五入してください。
  - 年間延べ人数（ ）人
- 8月1日現在の登録者数についてご記入ください。登録者数（ ）人
- 昨年度中に自治体よりセンターへ交付された助成金についてご記入ください。年間（ ）万円 ※千円以下は切り捨ててください。

## Ⅲ. センター職員（担当者）について

8月1日現在の勤務体制についてご記入ください。

- センター職員の雇用形態について、1つ選んで○を付け、人数をご記入ください。
  - 正規職員のみで対応（ ）人
  - 正規職員と非正規職員で対応 ※ボランティアは非正規職員に含みません。  
正規（ ）人 + 非正規（ ）人 = 計（ ）人
  - 非正規職員のみで対応（ ）人

2. センター職員は、保育士資格がありますか。1つ選んで○を付けてください。
  - 1 全員ある
  - 2 資格のない者もいる
  - 3 全員資格なし
  
3. センター職員はどのようにして決めていますか。1つ選んで○を付けてください。
  - 1 保育所長が指名
  - 2 期間を決めて順番に担当
  - 3 希望者
  - 4 その他 ( )
  
4. センター職員における異動の状況について、1つ選んで○を付けてください。
  - 1 ある
  - 2 ない
  
5. センターのボランティア活用についてご記入ください。
  - 1 活用している → 昨年度の延べ人数 ( ) 人
  - 2 活用していない
  
6. センター職員の処遇について、1つ選んで○を付けてください。
  - 1 現在のままでよい
  - 2 改善の必要がある
  
7. センター職員の処遇、運営費等についての要望があればご記入ください。

--

#### IV. センターの活動状況

1. 地域の子育て支援のニーズをどのような方法で把握していますか (複数回答可)。
  - 1 利用状況で判断する
  - 2 利用者と話をする
  - 3 行政からの要請に応える
  - 4 利用者にアンケート調査を行う
  - 5 保護者のインターネットへの書き込み
  - 6 その他 ( )
  
2. センターの存在をどのように広報していますか (複数回答可)。
  - 1 市役所で案内を配布してもらう
  - 2 保育園にポスターを掲示
  - 3 地域の子育て関連施設に案内を置く
  - 4 保健所の健診時に案内する
  - 5 インターネットのホームページ
  - 6 その他 ( )

3. 以下の項目は、「地域子育て支援拠点事業」としての具体的な活動内容です。すべての設問に、右側の番号1~4のうち該当するものを1つだけ選んで○を付けてください。

		実施している	以前はしていたが現在はしていない	今後実施を予定している	実施する予定はない
1	親子が安心して自由に遊べる場の提供（園庭や保育室）	4	3	2	1
2	親子で楽しむ遊び提供を目的としたプログラム	4	3	2	1
3	母親同士の交流や親睦を促進させるプログラム	4	3	2	1
4	子育てサークルへの支援	4	3	2	1
5	父親が参加しやすいプログラムの工夫や、夫婦での育児体験参加	4	3	2	1
6	子育てについての個別相談	4	3	2	1
7	二人目以降の子育てについての個別相談	4	3	2	1
8	一時預かりなど親がリフレッシュできる支援	4	3	2	1
9	産後うつや育児疲れなどを支援する産後ケア	4	3	2	1
10	妊娠中の方への情報提供や支援	4	3	2	1
11	妊娠中の方への育児体験	4	3	2	1
12	子育て支援センターに関する情報提供	4	3	2	1
13	地域の保育・子育てに関する社会資源（保健、福祉、医療、教育、青少年育成の機関等）の把握と情報提供	4	3	2	1
14	講師を招いての子育て講習会の開催	4	3	2	1
15	イベントの開催	4	3	2	1
16	保育所との交流や体験（体験保育や行事参加など）	4	3	2	1
17	ボランティア育成のための講習会	4	3	2	1
18	出前保育や新生児訪問など、地域に出向いての支援活動	4	3	2	1
19	中高生など若者の育児体験学習の受け入れ	4	3	2	1
20	地域住民と協働して行う支援活動	4	3	2	1

## V. 地域子育て支援拠点事業について

以下の事業に関する項目について、どの程度あてはまるとお考えですか。すべての設問に、右側の番号1~4のうち該当するものを1つだけ選んで○を付けてください。

		とても そう思 う	やや そう思 う	あまり そう思 わない	そう思 わない
1	地域の在宅家庭への子育て支援は保育所が中心になって行うのがよい	4	3	2	1
2	保育所保育と子育て支援を両立するのは難しい	4	3	2	1
3	子育て支援を担うのは、専門性が必要なため、保育士がよい	4	3	2	1
4	保育士の資格はなくても、子育ての経験があれば、子育て支援はできる	4	3	2	1
5	子育て支援について園全体で話し合いをしている	4	3	2	1
6	保育所としての子育て支援の運営理念が明確である	4	3	2	1

		とても そう思 う	やや そう思 う	あまり そう思 わない	そう思 わない
7	職員は目的や理念を周知して、子育て支援に臨んでいる	4	3	2	1
8	保育所保育士と子育て支援職員はお互いの仕事を理解している	4	3	2	1
9	地域や子育て家庭のニーズを把握する努力をしている	4	3	2	1
10	センターは、地域のほとんどの子育て家庭に周知されている	4	3	2	1
11	地域の人とのつながりや地域行事への参加を積極的にしている	4	3	2	1
12	現在行っている支援は、社会資源との協働が必要と感じている	4	3	2	1
13	センターの利用者は、保護者（親）であると考えて支援している	4	3	2	1
14	センターは意識して子どもの育ちの支援をしている	4	3	2	1
15	子育て環境の充実のために地域の子育て力向上のための支援をしている	4	3	2	1

## VI. センター事業を行っていて感じること

センターで当該事業を行っていて日頃感じることについて、お尋ねします。すべての設問に、右側の番号1~4のうち該当するものを1つだけ選んで○を付けてください。

		とても そう思 う	やや そう思 う	あまり そう思 わない	そう思 わない
1	保育所として子育て支援をしてきてよかったと思う	4	3	2	1
2	子育て支援経験によって、保護者への理解が深まった	4	3	2	1
3	子育て支援経験によって、現在の子育て状況の理解が深まった	4	3	2	1
4	他のセンターや子育て支援事業との連携がうまくできている	4	3	2	1
5	子育て支援を通して保育所と地域とのつながりが深まってきた	4	3	2	1
6	子育て支援は家庭の子育てに良い影響を与えている	4	3	2	1
7	利用者にどこまで支援してよいのか迷うことがある	4	3	2	1
8	センターの存在を地域にPRする方法を考える必要を感じる	4	3	2	1
9	子育て支援には、保育士の専門性が必要であると感じる	4	3	2	1
10	センターだけでは対応できないケースが増えてきたと感じる	4	3	2	1
11	虐待問題を抱えている或いは疑いのある親子が増えてきたと感じる	4	3	2	1
12	支援の方法や内容がマンネリ化してきたと感じる	4	3	2	1
13	保護者だけでなく子どもを中心とした支援を大事にしたい	4	3	2	1

その他感想があれば、お書きください。

## VII. センターと他機関との連携・ネットワーク

1. 下の表にある子育て関連機関と連携していますか。各機関や団体との連携状況について、下記の番号1～3のうち該当する番号を1つだけ選び、番号欄（右側）にもれなく記入してください。

- 1：連携している  
 2：連携の必要を感じているができていない  
 3：連携の必要がない、あるいは地域に機関（団体）がない

機関・団体	番号	機関・団体	番号
1 自治体（市区町村）		10 幼稚園・認定こども園	
2 他の保育所が運営しているセンター		11 児童相談所	
3 他の子育て支援事業（単独のセンター、ひろば、NPO、児童館など）		12 療育施設（障害児関係事業など）	
4 保健所・保健センター		13 福祉事務所	
5 母子保健推進員		14 社会福祉協議会	
6 学校		15 産院・病院	
7 教育機関・教育センター		16 乳児院・養護施設	
8 地域の自治会		17 その他	
9 民生児童委員・主任児童委員		[ ]	

2. 上の表の中で「連携の必要を感じているができていない」と答えた機関との連携が難しい理由を教えてください。

3. 子育て支援を行う上で、有効なネットワークと思われる実践があればお書きください。

## VIII. 今後の課題

保育所併設型の子育て支援センターに望まれる機能と役割として、以下の項目についてどの程度重要と感じていますか。すべての設問に、右側の番号1～4のうち該当するものを1つだけ選んで○を付けてください。

		とても重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない
1	妊娠中から育児体験をさせ、マタニティブルーや産後うつなどの情報を共有する	4	3	2	1
2	電話や訪問により、妊娠中から子育て支援センターの役割を周知する	4	3	2	1
3	妊娠中から支援センターの利用ができるようにして、育児体験など産後の支援につないでいく	4	3	2	1
4	産後うつなどの産褥期の親へのケアなどカウンセリング機能を充実させる	4	3	2	1
5	新生児訪問の方法や内容を把握し、保育所も協力して行う	4	3	2	1
6	支援を要する親子を早期に発見できるよう助産師や保健師と情報を共有し、協力する	4	3	2	1
7	支援センターを利用している親子だけでなく、出前保育等、地域に出て行って支援を広げる	4	3	2	1
8	支援センターと保育所がお互いを理解し、しっかりと協働して支援を充実させていく	4	3	2	1
9	子どもの姿や保育を見たり体験したりできる、保育所の特性を生かした子育て支援をしていく	4	3	2	1
10	保健・福祉・医療・教育・その他の社会資源と協働して地域の支援を考える（保育ソーシャルワーク）	4	3	2	1
11	個別の支援を提供していくために、保育士がコーディネーターとしての役割をしていく	4	3	2	1
12	虐待の疑いがある親子を早期発見し、適切な対応ができるような知識を担当者（保育士）が持つ	4	3	2	1
13	地域のマンパワーを活用し、ボランティアを育成する	4	3	2	1
14	保育所や支援センターが中心となって、地域のコミュニティーづくりを行う	4	3	2	1
15	受け身的な支援でなく、親の持つ力（エンパワーメント）を引き出していくような支援内容を考える	4	3	2	1
16	親がリフレッシュしたり、自己実現できるような支援を考える	4	3	2	1
17	乳幼児期だけでなく、学童期に継続する支援をしていく	4	3	2	1
18	中高生など若者が、子どもとかかわり子育てを体験する機会を提供する	4	3	2	1
19	児童期・青少年期も視野に入れた子育て支援をしていく	4	3	2	1
20	地域の高齢者や子どもの祖父母と交流し、一緒に活動する機会を持つ	4	3	2	1

## Ⅸ. 独自の取り組み

独自の子育て支援として実施している内容と、その成果を具体的に紹介してください。

※ご協力頂きまして、ありがとうございました。